

いもの イノシシってどんな生き物？



イノシシを見たことはありますか？平地から山間の広葉樹林帯に生息する動物ですが、近頃は人里の畑を荒らす害獣として扱われたり、街中にも食べものを求めて出没したりして、ニュースになることがあります。今回は兵庫県の全域に生息している「ニホンイノシシ」について解説します。



▲六甲山のイノシシ

ニホンイノシシはこんな動物

食べもの

雑食で、木の实や植物の根、他に昆虫やミズズ等の生き物、街中の生ごみなど、なんでも食べます。

体の大きさ

大人は120cm～150cm
色は黒褐色で毛が固くてとても丈夫です。

繁殖

ほとんどのメスが1歳から子どもを産むことができ、平均4頭ほどの子どもが生まれます。

活動時間

夜間に活動することが多いですが、それは人を避けているからです。人慣れしている地域では昼間に行動するイノシシもいます。

キバ

犬歯が発達したもので、オスメスともありますが、オスの方が大きいです。

上下左右に2本ずつ計4本

ありますが外からは

下あごの牙しか見えません。

キバは穴を掘る時や、オス同士のケンカの際に使われます

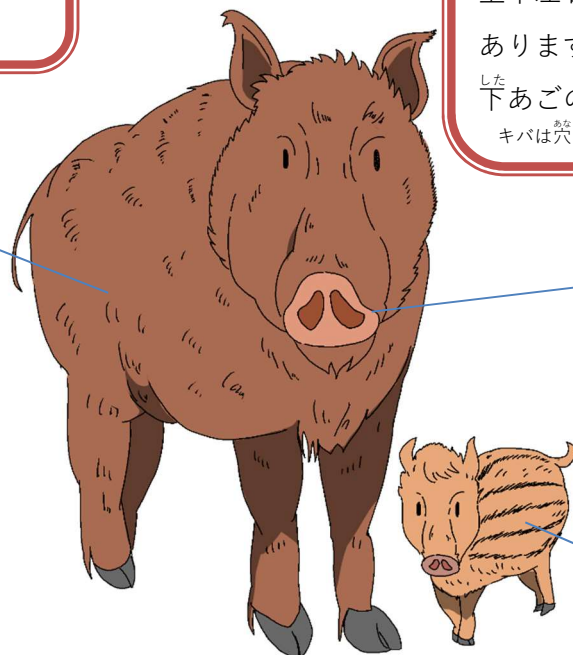


鼻

嗅覚に優れていて、エサを探す時に使うほかに、持ち上げる力も強く、重さ60kgのモノでも動かせます。

子イノシシ

生後6か月ぐらまでは体にしまみ模様があり、野菜のシマウリに似ていることからウリ坊と呼ばれます。



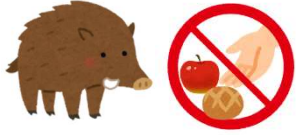
イノシシはまっすぐしか進めない？

猪突猛進という言葉のように、イノシシは興奮しながら突進してくるイメージがありますよね。でも実際にはイノシシは自然の中で穏やかに暮らしているし、まっすぐしか進めないこともありません。人や猟犬に追いかけて、一目散に逃げる様子から「猪突猛進」という言葉が生まれたと考えられています。



▲ダッシュは時速45 kmにも

ろっこうさん もんだい 六甲山のイノシシ問題



えづ もんだい イノシシへの餌付けが問題に



近年、兵庫県の南部に位置する六甲山ではイノシシが餌を求めて登山中の人に近づく事例が多発しています。普段は人を見ると逃げる臆病な性格のイノシシですが、人から食べ物を餌として与えられたことのあるイノシシは、人を恐れなくなるだけでなく、栄養価の高い人の食べ物に執着し、最終的には人を襲って、持っている食べ物を奪うようになってしまいます。



▲ランチ中の人からリュックを奪おうと近づくイノシシ。

人慣れしたイノシシと餌付けする人への対策として、神戸市では2002（平成14）年にイノシシの餌付けを禁止する『神戸市のししからの危害の防止に関する条例』が制定されました。六甲山を利用する登山者や、周辺の住民への普及啓発のため、神戸市や近隣自治体が連携して、チラシの配布やポスターの掲示等を行っています。



▲餌付け禁止を呼びかけるチラシ
(兵庫県神戸市ホームページより)



とざんちゅう そうぐう 登山中にイノシシに遭遇したら？



- ・刺激しないこと（急に走ったり、石を投げる等はしない）。
- ・背負っているリュックや手荷物は体の前に抱えて、とられないように。イノシシを見ながらゆっくり後ずさりをして、距離を取ろう。

アクティブ・レンジャーを出前授業に呼んでみませんか？

この記事を書いた兵庫県南部・瀬戸内海側にある神戸自然保護官事務所の中村（なかむら）です。自然の中で遊べる出前授業も行っています。

↓↓興味のある方は、お気軽に下記までご相談ください↓↓

環境省 神戸自然保護官事務所 TEL：078-331-1146 FAX：078-331-1148
竹野自然保護官事務所 TEL：0796-47-0236 FAX：0796-47-0249

